

「フリーアドレス」ならぬ「フリーオフィス」。職場を自由に選ぶことができる働き方がじわじわと広がってきた。IT企業のサイファー・テック（徳島県美波町）の社員は、東京と徳島県にある



3つのオフィスを自由に歩き来できる。ある日は東京で会議。静かな環境で作業したいときは翌日は海や山に囲まれて集中する。（1面参照）

「早朝にサーフィンをしてからプログラミング

「職場はどこでも」じわり



サイファー・テックでは徳島県と東京都内のオフィスを自由に歩き来できる（徳島県美波町）

を始める」。住吉二郎さん（38）は海や山に囲まれた徳島県美波町のオフィスで働く。都心の別のIT企業に勤めていた時は満員電車の通勤で疲れていたが、「今はリラックスして仕事ができ、ストレスを感じない」。2012年に老人ホーム

ムをオフィスに改装した。14年にはフリーオフィス制度を導入。社員が宿泊できる設備も整え、東京や徳島市内からの交通費も会社が支給する。1週間でも半年でも、自分のワークスタイルに合わせて滞在できる。

「山ごもり」でひらめきを――。食品販売の自由が丘ブラン（東京・中央）で働く後藤慶太さん（43）は、岐阜県飛騨市にある古民家のレンタルオフィスを利用してい

自由に行き来、自由に発想

る。年に一度、一週間ほど滞在。「東京では出ないようなから駒の発想が湧く」という。

飛騨での農家とのちょっとした出会いから、形が不格好で市場には出せないけれど旬のおいしい野菜を使った弁当を発売。大手企業の社員食堂向けに提供し、好評を得たこともある。

都内のオフィスを離れて仕事ができるのか不安もあったが、「顧客とのやりとりも問題なく、どこでも仕事はできると確信した」。職場をあえて離れて発想を変え、アイデアを生み出すための新しい働き方だ。